

ラインシュアランス・グループ・オブ・アメリカ・インコーポレーテッド 2013年度第2四半期決算報告および事業概況

2013年7月18日 Reinsurance Group of America, Incorporated (ニューヨーク証券取引所コード: RGA) は、2013年度第2四半期の決算を発表しました。2013年度第2四半期は、純損失が4960万ドル（前年同期は1億4110万ドルの利益）になり、希薄化後一株当たり純損失は0.69ドル（前年同期は1.91ドルの利益）になりました。営業損益については、前年同期は営業利益1億2230万ドル、希薄化後一株当たり利益1.65ドルであったのに対し、営業損失**7180万ドル、希薄化後一株当たり営業損失 0.99ドルになりました。第2四半期における損失の主な要因としては、オーストラリアの支払備金積み増しによる税引後の影響額約1億8400万ドル（希薄化後一株当たり2.53ドル）が挙げられます。社長兼CEOグレッグ・ウッドリングのメッセージは以下の通りです。

「オーストラリアの事業における多額の支払備金積み増しは、主に団体保険に関するものであり、以前ご説明した通り、この数年の間オーストラリアの団体再保険は非常に困難なビジネスになっています。近年、同ビジネスの支払備金の積み増しを数回行ったものの、先週終えた総合的な支払保険金分析の結果、業界全体に共通した動向として、以前の予測を大幅に上回る実績悪化が見込まれました。それゆえ、従来通り実際の悪化を反映させるだけでなく、同ビジネスすべてにおいて、保険料保証期間が満了するまで更なる悪化が予測されている分を織り込みました。

支払備金の増加は主に高度障害保険金（支払事由に職業による就業不能状態を含む）に起因し、それに次いで就業不能保険金が大きな割合を占めています。この種の高度障害保険金に対して当社が大きなエクスポージャーを有するのはオーストラリアに限定されています。支払実績では、発生率が高まっているだけでなく、保険金請求プロセスにおける時間のずれが顕著に悪化しています。これには、今日のオーストラリア市場における多数の環境要因が関連し、実績悪化と請求までの時間差の拡大につながっているため、当社は元受保険会社に協力し、同ビジネスの改善に努めています。一般に、再保険の利用はあるものの、同リスクの多くは元受保険会社に保有されています。

約1億8400万ドルに上る税引後の影響額を受け、同額の余剰の資本が減少しています。こうした団体保険の保険期間は通常3年間ですが、プライシングに対して損害率悪化幅が大きいため、支払備金の大幅な積み増しが必要になりました。この状況はコントロール可能であり、今回の増強により今後は責任準備金・支払備金の適切性を保持できるよう、積極的な対応を実施しました。

現在の市場環境では、新契約に対して確実な価格設定を行うことが非常に困難であり、当社は2011年の半ば以降非常に慎重なアプローチで新契約に対応しており、大規模な団体新規ビジネスは全く獲得していません。同時に、オーストラリアの団体保険高度障害保険金ビジネスの見積りに関する活動は無期限に停止しています。他の団体ビジネスについても、市場が安定化し、商品の持続可能性が明らかになるまで、厳選したビジネスへの対応を続けて参ります。

オーストラリアの事業を除き、税引後一株当たり営業利益は約1.70ドルになりました。資産運用型再保険の業績が堅調であり、前述以外の支払実績はセグメントにより異なりますが、全般に予想通りになりました。連結ベースで保険料収入（正味）4%増も期待通りであり、これには約2120万ドルの為替レートの変動によるマイナス要因も反映されています。現地通貨ベースでは前年同期比5%超の保険料収入増になりました。一株当たり簿価（その他の包括利益累計額を含む）は、82.97ドルになりました。（その他の包括利益累計額を除く一株当たり簿価は66.31ドル）

第2四半期には、自社株式の買戻しを再び行いました。当年度累計では総額2億3050万ドル・およそ370万株の買い取りを実施しています。第2四半期に3億ドルから4億ドルに予算枠が引き上げられたため、現行のプランによる自社株買い枠の残額は約1億7000万ドルになります。更に、株主に対する四半期配当金を0.30ドル（25%増）に引き上げました。今後も資本管理戦略の実行を続け、時機を得た自社株買戻しプランの実行や業容拡大のビジネスチャンスを検討して参ります。最近実施した資本管理戦略およびオーストラリア事業の影響を受けて、当社の余剰の資本は約2億ドルになりました」

2013年度第2四半期決算報告*

- 純損失は 4960 万ドル（前年同期は 1 億 4110 万ドルの利益）、希薄化後一株当たり純損失は 0.69 ドル（前年同期は 1.91 ドルの利益）になりました
- 営業損失** は 7180 万ドル（前年同期は 1 億 2230 万ドルの利益）、希薄化後一株当たり営業損失は 0.99 ドル（前年同期は 1.65 ドルの利益）になりました
- 保険料収入（正味）は約 20 億ドル（前年同期比 4%増）

2013年度第2四半期における事業の概況

- RGA の主要事業子会社である RGA リインシュアランスカンパニーは、中国において生命再保険会社の支店として事業を行うため、暫定免許を中国保険監督管理委員会より取得しました。これにより、1年以内に当社中国支店の本格的な稼働が可能になります。
- RGA は、7 月 1 日にトルコのイスタンブールに新たな拠点を設立することを発表しました。当社にとって 27 カ国目の拠点になります。
- 当社の社長兼 CEO グレグ・ウッドリングが IIS（International Insurance Society - 国際保険会議）の取締役会会長に選出されました。IIS は、保険業界の国境を越えた意見交換を促進し、グローバルなネットワークの構築、業界の重要課題に対応した実務的かつ独創的なリサーチの実施を目的に、1965 年 5 月に設立されました。
- RGA は、2013 年度「CIO 100 Awards（最高情報責任者トップ 100）」を受賞しました。同表彰は、メディア・イベント・リサーチ大手企業子会社 IDG エンタープライズが発行する『月刊 CIO マガジン』の後援により、優れた IT オペレーションや戦略のなかでも最高水準を示した世界の企業を選出する年間表彰制度です。
- RGA は、米国大手企業『フォーチュン 500』の 275 位（フォーチュン誌 2013 年 5 月号）にランキングされました。これは総収入に基づく米国公開企業番付です。



各事業子会社について、以下の表に示す通り、第 2 四半期における財務力格付の変更はありません。

	RGA Reinsurance Company (主要事業子会社)	RGA Life Reinsurance Company of Canada (カナダの事業子会社)	RGA International Reinsurance Company Limited (アイルランドに拠点を置き、北米以外の事業をサポート)	RGA Global Reinsurance Company, Ltd. (バミューダに拠点を置き、北米以外の事業をサポート)	RGA Reinsurance Company of Australia Limited (オーストラリアの事業子会社)
S&P 保険財務力格付	AA-	AA-	AA-	AA-	AA-
AM ベスト	A+	A+	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)
ムーディーズ	A1	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)

当社の 2013 年度第 2 四半期決算報告の詳細内容は、当社ホームページ (www.rgare.com) の Investor Relations をご参照ください。

RGA の概要

2013 年 6 月 30 日時点において、再保険引受保有額約 2 兆 8000 億ドル、総資産 388 億ドルを有し、RGA は世界有数の生命再保険会社です。RGA は下記の各国において事業を行っています。

アメリカ、カナダ、バミューダ、バルバドス、オーストラリア、韓国、シンガポール、台湾、中国、日本、ニュージーランド、香港、マレーシア、アイルランド、イギリス、イタリア、インド、オランダ、スペイン、ドイツ、フランス、ポーランド、アラブ首長国連邦、南アフリカ、メキシコ (地域別 50 音順)

注記事項

* 数値はすべて米ドル表示

**** GAAP 会計基準に準拠しない財務指標について**

当社は、営業利益という GAAP 会計基準に準拠しない財務指標を業績結果の分析に用います。また当社の業績連動報酬制度の目標設定・業績評価も同指標に基づきます。営業利益 (税引前および税引後) は、キャピタル (ゲイン) ロス、および組込デリバティブの公正価値変動や関連する繰延新契約費の影響を受けないため、当社の継続事業の収益性およびトレンドを適切に示していると考えられます。信用市場や金利環境を受けて、前述のキャピタル (ゲイン) ロス等は変動し得るものの、必ずしも当社事業の業績を反映しないことがその理由です。

また、営業利益には、当社の現行事業を反映しない非継続事業の純利益 (損)、および会計基準変更に伴う累積的影響は含まれません。営業利益の定義は各社により異なり、GAAP 会計の純利益の代用とはみなされません。GAAP 会計の純利益との調整については、四半期報告書をご参照ください。当社ホームページ (www.rgare.com) の Investor Relations ページには、四半期報告書および「Quarterly Financial Supplement」に付加的な財務情報が掲載されています。

株主資本 (その他の包括利益累計額を除く) は、GAAP 会計基準に準拠しない財務指標であり、時価評価に伴う有価証券評価差益 (損) の影響および外貨換算調整額を除いて貸借対照表を評価する上で重要であると考えられます。

自己資本利益率は、営業利益を期中平均株主資本 (その他の包括利益累計額を除く) で除して算定する GAAP 会計基準に準拠しない財務指標です。